

朝日遺跡の魅力を発信する資料館の整備を進めます

予算額 1,407,976千円

教育委員会生涯学習課
文化財保護室
管理グループ
内線 3960・3961
(ダイヤル)052-954-6782

1 清洲貝殻山貝塚資料館整備費 1,398,723千円

愛知を代表する朝日遺跡の魅力を発信するため、平成32年秋の開館に向けて、引き続き資料館の拡充整備を実施します。

＜整備スケジュール＞		30年度	31年度	32年度
新資料館	建築工事	→		
	展示製作	→		
史跡整備工事		→		
既設資料館改修工事		→		
		開館		

※既設資料館は、改修工事に伴い平成31年4月から休館し、新資料館の開館とあわせて再開館します。



2 朝日遺跡魅力発信事業費 9,253千円

資料館の「にぎわい」を創出するための検討を行うとともに、朝日遺跡の学術的価値、文化遺産としての魅力を広く発信します。

【主な事業内容】

- ・ 県、清須市及び名古屋市による資料館の「にぎわい」を創出するための検討
- ・ 朝日遺跡や資料館の拡充整備及び平成32年秋の開館をより効果的にPRするワークショップの実施
- ・ 朝日遺跡や考古学を対象とした講座及び弥生時代の生活体験講座の実施

＜新資料館＞

構造・規模：鉄筋コンクリート造2階建 延1,953㎡
場所：清須市西田中地内
(現清洲貝殻山貝塚資料館敷地内)

朝日遺跡

清須市・名古屋市西区に位置する東海地方最大の弥生集落。逆茂木・乱杭などの強固な防御施設が全国で初めて発見された。平成24年には主要な出土品2,028点が国の重要文化財に指定された。